



パソコン教室

理科実験室

図書室

ホームルーム

社会科の広場

国語の広場

社会科教室

国語教室

# 東京都板橋区立 赤塚第二中学校 学校改築



東京都板橋区教育委員会





### 区長あいさつ

地域に愛され続け、教育力の充実した魅力ある学校づくりは「人づくり」の大きな使命です。板橋区では、平成21年度に「新しい学校づくり担当課」を設置して区を挙げて取り組んできました。区内初の「教科センター方式」を導入した赤塚第二中学校の完成は、計画段階からの学校現場の努力、地域や保護者、関係各位のご理解、ご協力の賜物であると感謝しております。木の温もりあふれる赤塚第二中学校の学校づくり、教育変革が広く波及することを期待しています。

板橋区長 坂本 健

### 校長あいさつ

最新のハイテクな造りの中に木の温もりを感じさせる新校舎。人の心・命のあたたかみを大切にしている赤塚第二中学校の伝統がしっかりと受け継がれています。自ら主体的に学習に臨む「教科センター方式」による授業は、生徒の学習意欲を高めています。そして、互いに助け合い高め合う「ケア」の精神が磨かれ、様々な教育活動の中でこれからの社会をたくましく生き抜く力が育っていきます。風立ちぬ。今、赤二中から新しい風が吹き始めています。

赤塚第二中学校校長 稲葉秀哉



教科資料があり、授業や自習に使える「学びの広場」



可動式電子黒板や学びの広場を活用することで多様な授業が可能な「教科教室」



生活の拠点としてクラスのまとまりを育む「ホームルーム」

## 赤塚第二中学校改築概要

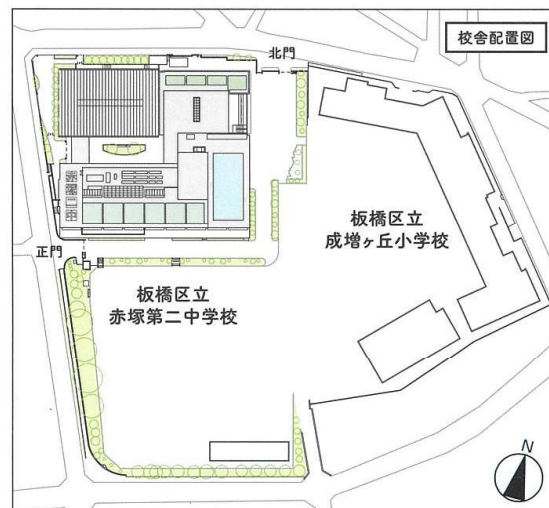
「赤二中」の名で親しまれる赤塚第二中学校は、昭和22年に開校し、今年で66周年を迎えます。創立時から使われてきた旧校舎は老朽化のため改築され、新しい校舎へと生まれ変わりました。

赤二中の改築は、板橋第一小学校、中台中学校と共に3校一体で、板橋区の新しい教育モデルとして

計画しました。「教科センター方式」の導入、あたたかみあふれる「木の学校」づくり、ICT機器の整備などにより、生徒がより主体的でのびのびと生活・学習できるような学校となりました。新しい教育に取り組みつつ、赤二中の歴史と伝統を継承し、これからも地域の中心的な存在としてあり続けます。

## 改築プロジェクトスケジュール

- 平成20年 1月 「いたばしNo.1実現プラン」策定
- 7月 「いたばしの教育ビジョン」策定
- 平成21年 3月 「板橋区立学校施設あり方検討会」報告書策定
- 4月 「板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり担当課」設置
- 6月 教職員ヒアリング  
(平成22年7月迄定期実施)
- 7月 保護者・地域アンケート
- 8月 改築三校調整会議  
(平成23年3月迄定期開催)
- 12月 基本設計(平成22年5月迄)
- 平成22年 4月 学内検討会議  
(平成22年6月迄定期開催)
- 6月 実施設計(平成22年12月迄)
- 8月 仮設校舎建設(平成22年11月迄)
- 平成23年 1月 既存校舎解体(平成23年5月迄)
- 6月 建設工事開始
- 平成25年 3月 新校舎完成
- 10月 外構完成
- 11月 落成式



多様な交流を生む、日光杉に包まれた「赤二ホール」

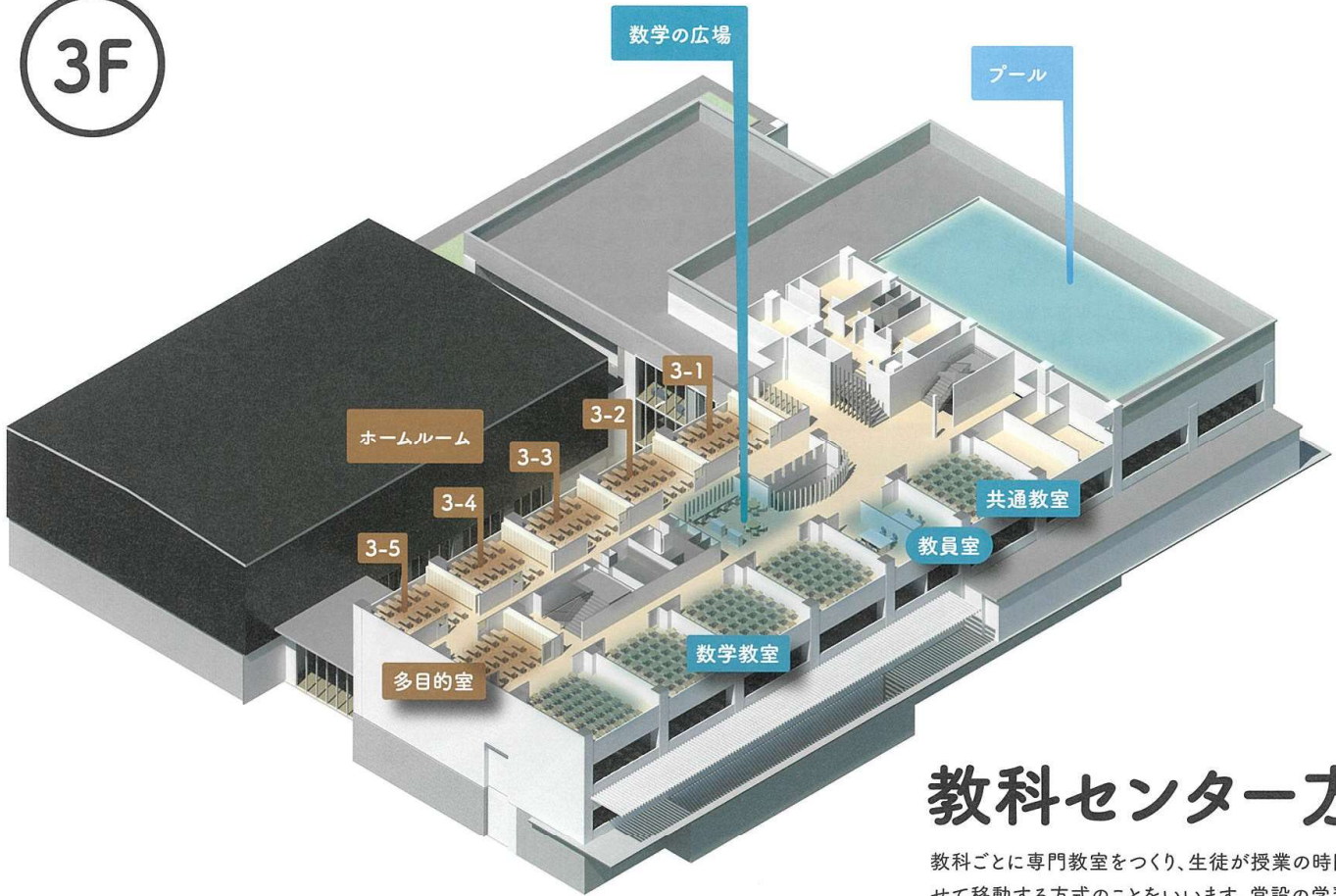


映画会、学年集会もできる「多目的室(ランチルーム)」



防災拠点の役割も果たす、明るく広々とした「体育館」

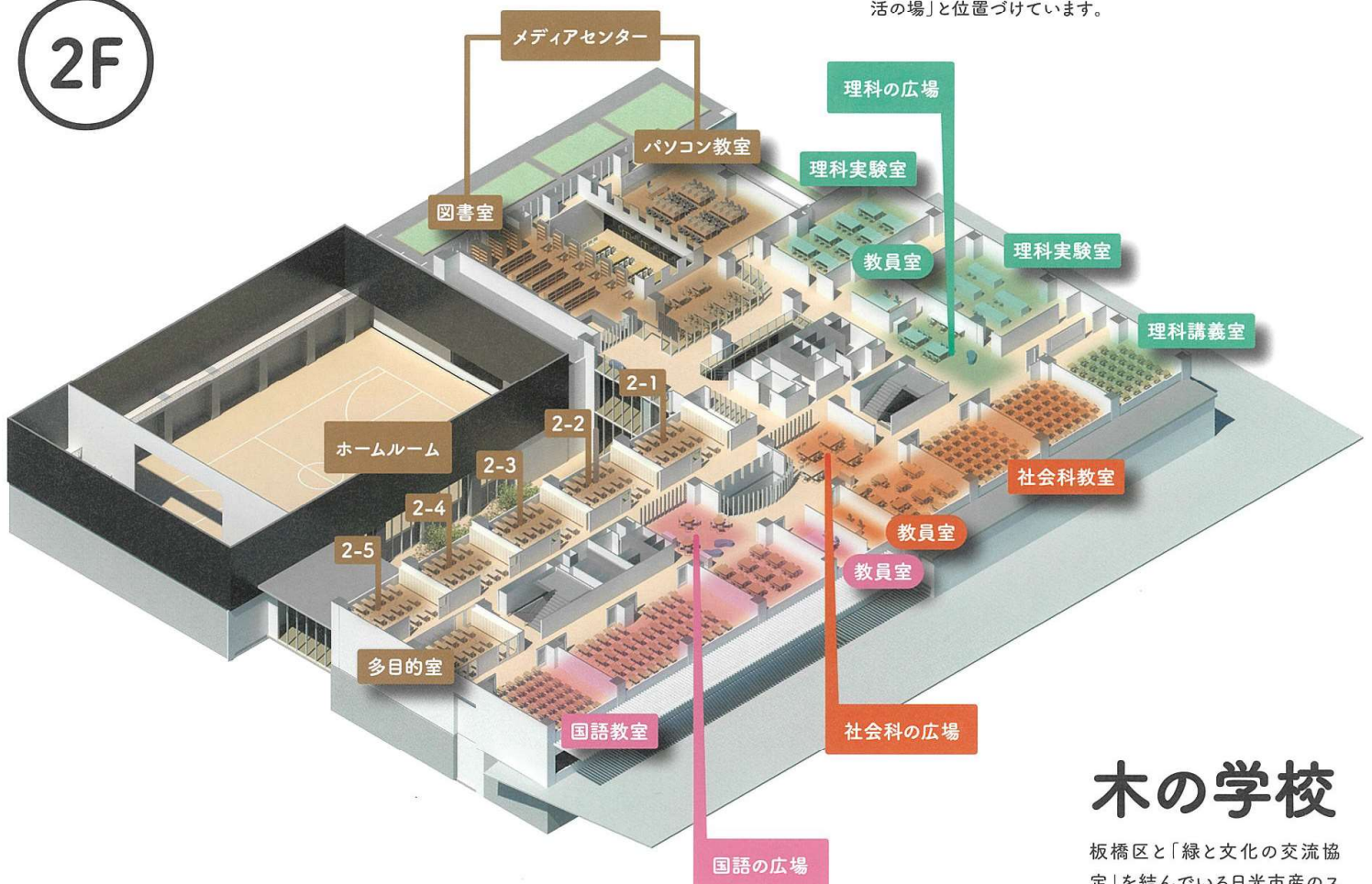
3F



## 教科センター方式

教科ごとに専門教室をつくり、生徒が授業の時間割にあわせて移動する方式のことをいいます。常設の学習場所へ自ら向うことで自律的な精神を育みます。教室に隣接して教科ごとの「学びの広場」があり、習熟度や興味関心に応じた少人数学習や、教科教室と一体的に使った自由度の高い授業ができるようになっています。赤二中では「学習の場」をつくる一方、クラスの時間を過ごすホームルームもつくり、「生活の場」と位置づけています。

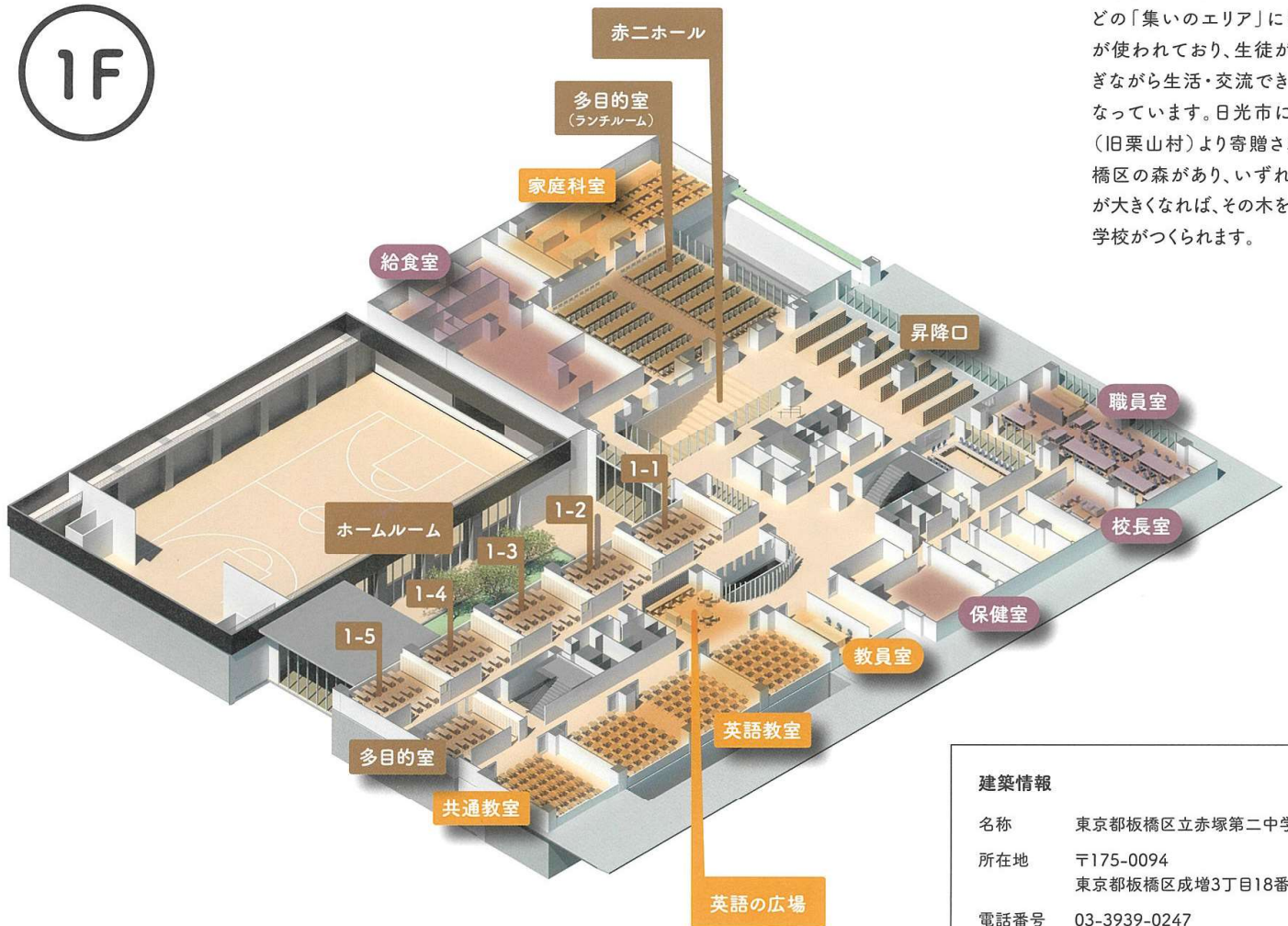
2F



## 木の学校

板橋区と「緑と文化の交流協定」を結んでいる日光市産のスギやヒノキを使い、木の温もりに包まれたあたたかみのある学校

1F

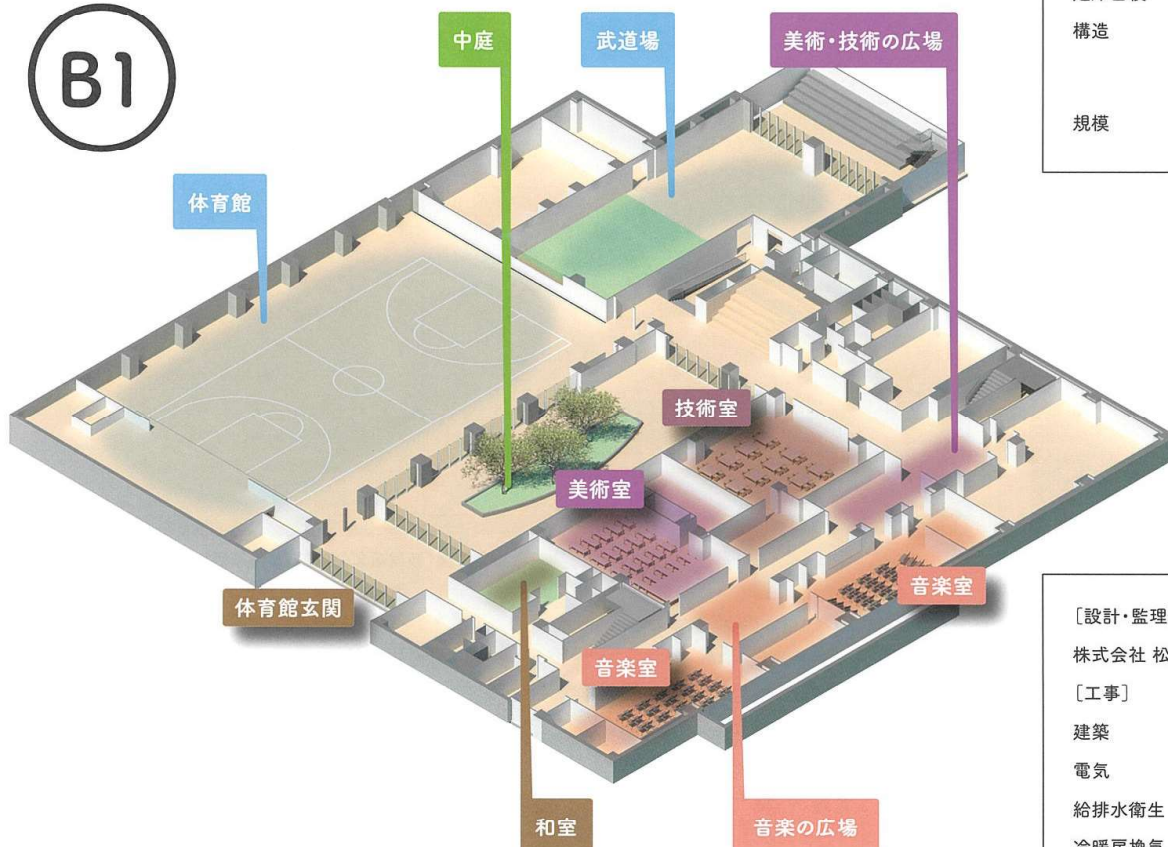


になりました。主に、赤二ホール、多目的室、ホームルームなどの「集いのエリア」に日光杉が使われており、生徒がくつろぎながら生活・交流できる場になっています。日光市には、市(旧栗山村)より寄贈された板橋区の森があり、いずれそれらが大きくなれば、その木を使って学校がつけられます。

建築情報

名称	東京都板橋区立赤塚第二中学校
所在地	〒175-0094 東京都板橋区成増3丁目18番1号
電話番号	03-3939-0247
敷地面積	15,161.6㎡
建築面積	4,277.2㎡
延床面積	10,190.9㎡
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地下1階/地上3階

B1



〔設計・監理〕

株式会社 松田平田設計

〔工事〕

建築	共立・深山・内田建設共同企業体
電気	渡部・東建設共同企業体
給排水衛生	桶川・榎本建設共同企業体
冷暖房換気	栄幸・富士川建設共同企業体
エレベーター	中央エレベーター工業株式会社
ガス	東京ガス株式会社